

「形から入ってるんとちゃうん？」  
と思わせるタイミングの悪いご改装

京都府五条警察署が11月末完成予定の改装に取りかかっている。一般市民は「どこからそんな予算を確保したのか」というのがまず気になる。しかも、「ここんとこ交通違反の取り締まりが異常に多く、厳しくなった」「もしや反則金が警察署の改装に当てられているのでは？」という噂もまことしやかにささやかれている。しかし、これはまったくの邪推。交通違反の反則金は国庫に入り、法律にしたがって交通安全特別交付金として人口や交通事故の発生状況に応じて都道府県や市町村に分配される。つまり、ガードレールや標識などの設置・管理に充てられることはあっても、警察署で使用することはないのだ。今回の五条署改装は純粋な税金から捻出されたもの。ならば、それはそれで注文がある。残念ながら京都府警は相次ぐ不祥事で信用状態はまさに最悪。そんな折りの改装ゆえに、「外見だけ小奇麗にしても…」という気持ちがつつのる。だからこそ、犯罪の防止や内部教育の徹底など、見た目だけでなく質の向上を明確に市民に示して欲しい。そうすれば、新庁舎は張り子のトラでなくてははずだ。

いまだときの歴史

一番新しい日本の一ページ

新たな首輪？

iモードによる稟議決裁の電子化開始  
おっさんもiモーターになれるか？

通りにくい稟議は深夜も狙え



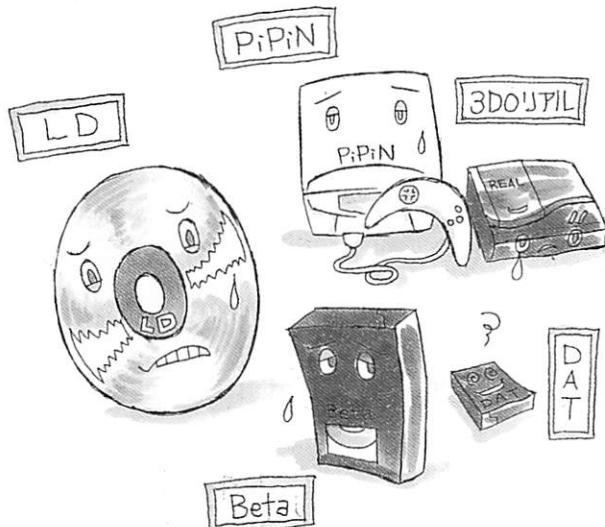
NTTコミュニケーションズの一部の部署で、iモードによる稟議決裁システムを導入した。これによって、管理職はiモード対応の携帯電話さえあれば、祇園のクラブであろうと、自宅であろうと24時間稟議書の決裁や差し戻しができるといわれるわけだ。まあ、これはNTTコミュニケーションズ自らがiモードの活用例を示してくれたものだが、これには賛否両論が飛び交っているとか。出張や外出の多い管理職に有効だし、管理職がビジネスの動きを外出していても把握できるというのが賛成派の意見。一方、「24時間、外出先まで決裁に追われるのは困る」というネガティブな声も。いや、ちょっと待て。そんなもんは社員たちに「勤務時間内で処理できることは処理するよう」徹底的に指導するのも管理職の仕事のうち。せっかく業務をスピード化できるアイテムが増えたのだから、それを「タラタラ勤務」に当てはめてはいかん。勤務姿勢にもIT革命を求む。

地方税と言えば  
タバコ...



まさかこんな事はないと思うけどさ...

もうこんな七霊生んではいけない...



どちらが犠牲に？

人類を取るのか地球を取るのか？  
共通ルール無き議論や開発は不毛だ

道路交通法でディーゼルエンジンの規制が正式に決定。今後2年間の猶予期間を経た上で、段階的にディーゼルエンジン搭載車を減らしていくことになった。ところが欧州諸国ではCO<sub>2</sub>の排出がガソリン車より少ないディーゼルの開発が進んでいる。トヨタも現行よりCO<sub>2</sub>排出を1割削減する新型ディーゼルエンジン搭載車を発表。国の規制が企業開発とリンクしていないのは明らかだ。有害なガスが少なく人類に優しいガソリン車か、CO<sub>2</sub>排出が少なく地球に優しいディーゼル車か？ 極端な選択かもしれないが、少なくとも先に京都で行われた環境サミットでも、各国の温度差を埋めぬまま会議が進められており、世界的な見解は出ていない。しかも話し合いの場に立つ者は、ガソリン税や自動車税を資金源とする人々。そんな彼らに数ある次世代エネルギーの正しい道を模索できるのか？ 「国や企業」でなく、「人類」がどれを選ぶのか、統一見解に基づかなければ、いかなる開発も研究も貴重な資源と時間の無駄遣いでしかない。



文◎大塚 祐希

1968年大阪府八尾市生まれ。昔ながらの京都の民家を仕事場とするライター集団「大塚祐希事務所」の暫定CEO。「スポーツが好きだが自分ではやらない」「車が好きだが免許を持っていない」「酒が好きだが外で飲むと店で眠ってしまう」という数々のジレンマと戦いつつ、今日も愛機G4を駆る。



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP◎<http://www.d1.dion.ne.jp/~ryoguchi>